

西柴防災ニュース

西柴団地自治会防災部

横浜市金沢区西柴四丁目1-11

ホームページでも
ご覧いただけます。

QR
コード



住みよい街 西柴団地



西柴小学校地域防災拠点訓練(2025年11月23日(日)実施)

去る2025年11月23日(日)に、西柴小学校において、西柴小学校地域防災拠点運営委員会主催で西柴小学校地域防災拠点訓練が実施されました。西柴団地自治会及び横濱サウス自治会合同での開催でしたが、84名(運営委員74名、一般参加者10名)の方々に参加いただきました。(昨年度より1名減でした)

今年度、西柴小学校では拠点備蓄庫(屋外コンテナ倉庫)の更新工事が実施中だったため、昨年度までと比べて訓練内容を限定しての実施となりましたが、防災意識を高める良い機会となりました。

<訓練当日の実施内容>

- ①避難者受付 訓練
- ②避難所設営 訓練
- ③ランタンの動作確認
- ④テント式トイレ設営 訓練

①運営委員会集合の様子

今年度の訓練は備蓄庫更新中のため、受付とトイレに関する訓練に特化しました。



②運営委員会による設営の様子

全員で協力し、受け入れ体制を整えます。準備から片付けまで、迅速に対応することができました。実際にテントや段ボールベットの組立も体験しました。



①避難者受付 訓練

西柴小学校C棟1Fの校庭側入口から入場、受付を設けて避難者を身体弱者と健常者の役割分担で振り分けます。避難所では避難者はお客様では無く、当事者として皆さま協力し合い運営していきます。

今回は、体験する項目毎に色分けした「避難者カード」を参加いただいた方（避難者）に記入してもらい、「首掛け名札ケース」とセットで識別し、係員が体育館へ誘導しました。



- 万一災害が発生した際は、素早く、正確な受付が混乱を防ぐ鍵になります。
- 身体弱者の方を避難所（体育館）へ誘導する困難さが予想されます。
- 運営側と避難者全体の協力が必要不可欠と改めて感じました。

②避難所設営 訓練

西柴小学校C棟3Fの体育館を避難者受け入れスペースとして設営しました。

避難者テント、区割りシート、ダンボールベットを設置しています。



POINT / 実際は、全ての家庭にテントや仕切りを提供できる訳ではないため、いかにプライベート空間を設置するかが課題。在宅避難の検討・備えも重要と感じました。
体験者皆さんが、ダンボールベッドは意外と寝心地が良い、と仰っていました。

③ランタンの動作確認

体育館内で身体弱者（怪我、疾病など）の待機コーナーを設営、手廻しランタンの動作確認を実施しました。



POINT / 90秒連続で回転させると最大30分点灯する。一見効率的に思えますが、連続回転がなかなかの重労働で、体験者の息があがる場面もちらほら…
中には故障している器材もあり、定期点検の重要さに改めて気付かされました。

④テント式トイレ設営 訓練

体育館内でテント式トイレ及び、簡易トイレを設営しました。

また、写真にはありませんが、実際の運営を想定し、C棟2Fのトイレ内にも簡易トイレ設置訓練を実施しました。今回テント式トイレは体育館内で設営体験を実施しましたが、実際の設営は外に成ります。



☞ 簡易トイレ

オープンスペースでは使用するには、やや抵抗が…

☞ テント式トイレ

かわいい参加者さんにも体験していただきました♪



☞ トイレは特にプライベートスペースであり、使用が制限されたときのストレスはかなり大きいものと想像できます。実際は個室空間の準備が課題となります。

☞ 各家庭でも、万一に備え使い捨てトイレ常備を検討してみてはいかがでしょうか。

★参加者（防災部員）所感

☞ 今年度は、拠点備蓄庫の更新整備中ということもあり、内容が限定されていました。一般の参加者が少ない印象を受けたため、魅力的な訓練項目（炊き出しや避難時の食事体験、お子さん向けに消防署と協力した消火訓練等）を増やし、自治会員の皆さんにアピールすることが必要…と改めて感じました。

☞ 本紙を草稿中、まさに「北海道・三陸沖地震」が発生し、各地に被害が出ています。深夜にマグニチュード7.5、震度6強の揺れが身近で起きた際、本紙を読んでくださっている皆さんは冷静に行動ができるでしょうか。今回の地域防災拠点訓練を契機に、皆さんの防災意識が少しでも高まると嬉しく思います。